

自治体新電力による地域太陽光発電所の買取事業を支援する「ソーラーバトン・プロジェクト」を開始

プレスリリース

2026年3月19日
パシフィックパワー株式会社

パシフィックパワー株式会社（以下、パシフィックパワー）は、当社が運営・関与する自治体新電力による地域に設置された太陽光発電所を対象とした買取事業の支援を開始します。本取り組みは、地域に根差した再生可能エネルギーの有効活用を進めるとともに、電力の安定供給と地域脱炭素の両立を目指すものです。

自治体新電力が抱える課題

近年、小売電気事業者には、将来にわたり安定的に電力を供給するための「供給力確保」が求められており、卸電力市場への依存に加え、地域内電源の確保・活用が重要な課題となっています。また、地方公共団体においては、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、再生可能エネルギーの導入と地産地消の推進が強く求められています。こうした背景のもと、自治体新電力が地域の太陽光発電所を取得・活用することは、供給力確保と脱炭素の双方に資する有効な手段であると考えています。

地域太陽光発電所が抱える課題

太陽光発電所の多くは、2012年以降に固定価格買取制度（FIT）を背景として導入が進みましたが、制度開始から20年が経過する2030年前後以降、FIT終了後の運営や管理が大きな課題となります。近年では、事業者の撤退や管理不全により、発電所が適切に維持されず、地域の景観や環境に悪影響を及ぼす事例も指摘されています。地域の電源を将来にわたり活かしていくためには、発電所の継続的な管理と適切な事業承継が不可欠です。

自治体新電力の地域太陽光発電所の買取事業について

本事業では、パシフィックパワーが支援する自治体新電力が、地域内の太陽光発電所を取得し、必要に応じて設備の更新や整備（リパワリング）を行いながら、電源として最大限活用します。FIT期間中は制度を活用した売電を行い、FIT終了後も引き続き地域の再生可能エネルギー電源として運用・管理することで、安定的な電力供給と発電所の長期活用を実現します。

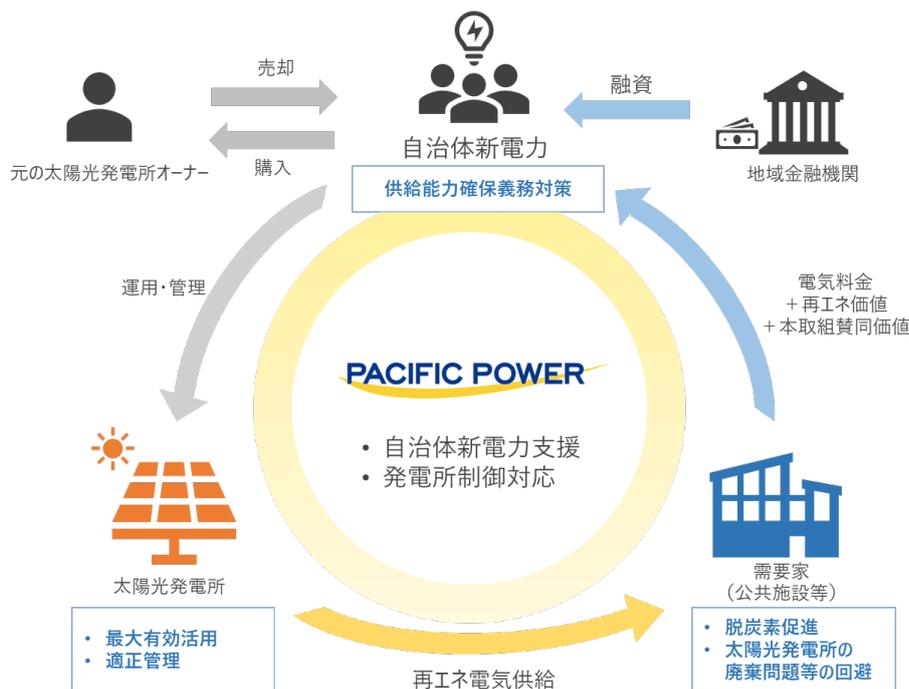


図 ソーラーバトン・プロジェクトのスキームと効果

本事業の社会的意義

本取り組みにより、自治体新電力は自らの供給力確保を進めるとともに、再生可能エネルギー由来の電力を地域の公共施設等へ供給することが可能となります。これにより、地域の脱炭素化を着実に推進すると同時に、将来的な発電設備の放置や不適切な廃棄といった社会課題の解決にも貢献します。

パシフィックパワーは、今後も自治体や地域事業者と連携し、地域に根差した再生可能エネルギーの活用を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

◆問合せ先◆

パシフィックパワー株式会社

TEL : 03-5244-5423 Mail: bizdev@pacific-power.co.jp